

<p>1. 宮崎 政國 (創風)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 第 6 次総合計画で「上越市を取り巻く課題」として、「人口減少の進行」をあげている。市が目指す「すこやかなまち」を実現するためにも、この課題に対する新年度の具体的な施策を聞きたい。</p> <p>(2) 重点戦略の「交流」で、北陸新幹線開業に伴う交流圏や交流人口の拡大をチャンスと捉えているが、玄関口である上越妙高駅からの人の流動を考えると、観光の目玉施設となる新水族博物館の完成までには時間がかかる。観光面を含めた北陸新幹線の開業ムードをどのように維持し、交流拠点などとしての活用に結びつける考えか。</p> <p>(3) 第 2 次財政計画では、普通交付税の合併特例措置の段階的な縮小による歳入不足が懸念されたが、見直しにより計画期間 (8 年) の見通しが立ったとしている。激変緩和期間の復元額などは、どのように変化したのか。</p> <p>(4) 第 2 次財政計画では、合併特例債や過疎債などの優良債や財政調整基金を有効活用した、大型プロジェクトが予定されているが、後年度負担の面で財源に不安はないか。</p> <p>(5) 第 5 次行政改革推進計画を策定し、公の施設の再配置計画を示しているが、関係施設廃止後の利活用は検討しているか。</p> <p>2. 議案第 7 号平成 27 年度上越市介護保険特別会計予算について</p> <p>(1) 上越市版の「地域包括ケアシステム」の構築を進め、住民組織等による通いの場を実施するとしているが、全市域の取り組みの現状を聞きたい。</p>
--------------------------	---

<p>2. 杉田 勝典 （公明党）</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 重点戦略に基づいた主な取り組みについて、以下のことを聞きたい。</p> <p>ア 「暮らしの戦略」において、市民の暮らしの安心感を高めるため“つながりの力”を育てるとしているが、施策を推進する上でのポイントは何か。</p> <p>イ 「産業の戦略」において、地域に根付いた新たな産業を創出するとしているが、具体的にどのような分野での産業創出を考えているか。</p> <p>ウ 「交流の戦略」において、観光地や利用者が多い公共施設にWi-Fiサービスの利用環境を整備するとしているが、観光客増など、整備による効果をどう見通しているか。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 27 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 合併特例措置の段階的縮小が始まったことなどから、実質的な依存財源比率がほぼ 6 割となったが、平成 27 年度の予算編成に当たり、市税増も含め更なる自主財源確保に向けた取り組みや歳出削減策などについてどのような議論を行ったか。</p> <p>3. 議案第 7 号平成 27 年度上越市介護保険特別会計予算について</p> <p>(1) 国の介護報酬の減額改定や新地域支援事業への移行などが、介護を受ける市内の高齢者に与える影響をどのように考えているか。</p> <p>4. 議案第 17 号平成 26 年度上越市一般会計補正予算（第 6 号）について</p> <p>(1) 域学連携推進事業において、学生の街なか居住を促進するため、空き家を活用したモデルプランを作成するとしているが、事業を本格実施した場合の効果をどう見込んでいるか。また、現時点で課題をどう認識しているか。</p> <p>(2) 農福連携障害者就労支援モデル事業において、障害者の農業分野での就労について、農業者団体へのニーズ調査や作業難易度の数値化等を検討するとしているが、今後の障害者の農業分野での就労機会拡大に向けてどのように展開していくのか。</p> <p>(3) e コマース推進事業において、新たにインターネットショップを開設する市内事業者への支援や、大手ショッピングページでのインターネット物産展の開催等を盛り込んでいるが、その効果をどう見込んでいるか。</p> <p>(4) インターンシップ促進事業及びU・I・J ターン雇用促進事業を進めるに当たり、現時点で課題をどう認識しているか。</p>
---------------------------	---

<p>3. 近藤 彰治 (市民クラブ)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 上越地域医療センター病院の機能強化について、新たに地域医療推進室を設置して検討を始めるとしているが、市民病院としてのあるべき姿をどう捉えているのか。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 27 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 体育施設整備事業の大潟体操アリーナの改修事業費は、財政面で有利な合併特例債を利用するのか。また、この施設の利用者は特別な目的を有する者に限定するのか。</p> <p>(2) 障害者相談支援センターをより専門的な相談員で構成する基幹相談支援センターに移行するとしているが、移行により障害者の相談支援体制は、どのように改善されるのか。</p> <p>(3) 橋梁維持費において、橋梁長寿命化修繕計画に基づいて計画的修繕を行い、適切に維持管理し、管理瑕疵に起因する事故などを発生させないとしているが、本年は 9 橋の修繕工事である。他の橋梁は実施設計委託及び橋梁点検を実施するとしているが、安全は保たれるのか。</p> <p>(4) 新幹線整備促進費において、ハード事業がほぼ完了し、ソフト事業に軸足を移すとしているが、新幹線開業を控えて目玉的な事業は考えられなかったのか。</p> <p>3. 議案第 17 号平成 26 年度上越市一般会計補正予算（第 6 号）について</p> <p>(1) 国の政策である「地方創生交付金」を地域消費喚起・生活支援として各種事業に予算配分しているが、新規事業だけでなく前年度実施した拡充事業も含んでいる。地域の活性化を目的とした導入事業と思うが通常の施策と何が違うのか。また、この事業によりどの程度の経済効果を見込んでいるのか。</p> <p>(2) 国の補正予算を活用して、人口減少対策の一環でインターンシップ促進事業や U・I・J ターン雇用促進事業の雇用対策に取り組むとしているが、受け入れ企業の確保に向けた体制をどう作るのか。また、予算措置は十分と思えないが、事業成果を上げるための根拠はどこに置いているのか。</p>
-----------------------------	---

<p>4. 櫻庭 節子 (みらい)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 「地方創生交付金」等を積極的に活用し、地域の活性化に資する各種施策を策定するとあるが、それらの施策により当市にどれだけの経済効果をもたらせると試算しているか。</p> <p>(2) 「地方版総合戦略」について、今後どのように策定を進めていくのか。</p> <p>(3) 第 6 次総合計画において「縦割りを排した分野横断的な取組を強力に推進する重点戦略を設定する」とあるが、具体的に、どのような方法で分野横断的な取組を推進するのか。</p> <p>(4) 第 6 次総合計画の重点戦略のひとつである「暮らし」の戦略のうち「つながりを育むまちづくり」の取組の中で、「地域の活性化や課題解決に向けて行動する人材の育成に取り組む」としている。この取組に期待しているが、確実な効果を出せるのか。</p> <p>(5) 「暮らし」の戦略のうち「お年寄りのすこやかな暮らしを支える“つながり”の強化」の取組の中で、住民組織等を主体とした介護予防事業への新たな取組があげられている。介護保険制度の改正を受け、この事業にどのように取り組み、どのような体制で実施していくのか。</p> <p>(6) 第 2 次財政計画は、平成 28 年度以降に生じる収支不均衡の全てを財政調整基金で補てんする収支構造となっている。財政調整基金は財源の不均衡を調整することと、災害など多額の経費支出が必要になるなどの不測の事態に備える側面もある。このような財源に頼らなければならない財政計画に不安はないか。また、今後事務事業の総点検の結果において検討するとして事業の確実な見直しで収支構造がどの程度改善される試算になっているか。</p>
---------------------------	---

<p>5. 滝沢 一成 (新政)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 合併後 10 年、北陸新幹線開通、国の地方創成の取組の本格化など、大きな節目に当たる今、策定された第 6 次総合計画に、市長はどのような思いと決意を込めているか。</p> <p>(2) 今後の市政運営の全ての政策分野に共通する課題の一つとして、「人口減少の進行」をあげているが、その課題への「的確な対応」とはどのような対応か。</p> <p>(3) 「交流」の戦略において、新水族博物館を集客効果のある新たな「まちの力」としているが、どういった点で、他に誇る新水族博物館とする考えか。また、採算がとれる見込みはあるのか。</p> <p>(4) 新水族博物館を核とした地域活性化のための仕掛けづくりを行うとあるが、どのようににぎわいの姿を実現しようとしているのか。</p> <p>(5) 上越地域医療センター病院の機能強化に向けた検討を進めるとしているが、第 2 次財政計画には当該病院の改築は織り込まれていない。機能強化に向けた検討の中には、病院改築を含むのか。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 27 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 市長は（仮称）厚生産業会館や新クリーンセンターなどの大型ハード整備の計画に続き、平成 27 年度から新たに大潟体操アリーナの増設工事を進める。こうした大型ハード整備計画を次々に打ち出す市長の考えを聞きたい。また、財政面で有利な合併特例債の活用を考えているのか。</p> <p>(2) 地方教育行政法の改正に伴い、市長は総合教育会議を設置するとしているが、市長は調整・協議の場についてどのような認識を持っているか。また、市長は地域の実情に合った教育や学術、文化の振興に関する総合的な大綱を定めることになるが、担当課や内容も含めてどのように対応するのか。</p>
--------------------------	--

<p>6. 平良木 哲也 (日本共産党議員団)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 地方創生が示す方向性は、当市がこれまで進めてきた『『すこやかなまち』づくりへの取組』に一致する部分が多くあるとしているが、「地方創生が示す方向性」をどう捉えているのか。また、『『すこやかなまち』づくりへの取組』に一致する部分とは、どのような点を指すのか。</p> <p>(2) 普通交付税の減額について、「算定方法の見直しの結果、普通交付税の減額は現財政計画に比べて大幅に縮小する見通し」であるとしているが、今後の復元の見通しと、それに関わる市としての取り組みについて聞きたい。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 27 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 大型施設の建設工事関連予算が数多く計上されているが、福祉関連予算との優先性をどのように検討したのか。</p> <p>3. 議案第 17 号平成 26 年度上越市一般会計補正予算（第 6 号）について</p> <p>(1) 「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」を活用して実施する事業は、どのような視点で選択したのか。</p> <p>(2) 住宅リフォーム促進事業は、5 年間の実績を経て予算額が拡大されたが、補助率や上限額の見直しについてはどのように検討したのか。</p> <p>4. 議案第 42 号～111 号条例の一部改正について</p> <p>(1) 公の施設の使用料改定に当たっては、市民の意見を把握したのか。</p> <p>(2) 第 5 次行政改革大綱の中にある「市民が真に必要とする基礎的なサービスの提供」との関連をどう考えているのか。また、「受益者負担の適正化」としているが、第 6 次総合計画が目指す「すこやかな暮らしを全ての市民の皆さんに送っていただくことができるまちづくり」と整合がとれていないのではないか。</p>
---------------------------------	---